

一本釣りで漁獲されたハタ類等の簡易活魚出荷の取組

北薩地域振興局林務水産課

【背景・目的】

甌島漁協の一本釣り業者は、これまで漁協の自営定置の漁獲物を運搬する漁協所有の活魚トラックに便乗させて活魚を鹿児島市内へ出荷していた。

しかし、平成 25 年度までに自営定置が廃業されたことに伴い、活魚トラックは運用されないこととなった。

そこで、新たな活魚輸送体制をつくるため、簡易な手法による出荷を行うとともに新たな販売先を模索し、漁業者の経営の安定化を図ることを目的とした。

【普及の内容・特徴】

1 新たな流通ルート開発による販路拡大

甌島地区水産改良普及事業推進協議会で(株)タカスイ串木野事業所、串木野漁協、島平漁協へ視察及び協議を重ね、協力体制を築いた。

甌島から島外へ出荷する前に連絡し、相場を聞きながらどこに出すかを検討してから出荷を行った。

2 簡易な活魚出荷方法の検討

水を少量入れたビニール袋を段ボール箱、スチロール箱などに入れ、この中に魚を詰め、酸素を封入する方法とした。使用する箱を検討したところ、プラスチックが安価で量を確保できるため、作業効率が良く、返送の際は箱を重ねることで輸送費を軽減することができた。更に、袋は二重にして強度を増すことと、袋の間に氷を入れて水温を下げる工夫も行った。

箱による活魚輸送は甌島から串木野間のみで、串木野フェリー発着場に活魚車を取りにくることで酸素と氷は最小限に抑えることができた。

【成果・活用】

- ・本方法で、アカハタは一箱に50尾、マダイは10尾、メジナは20尾まで活かすことが可能で、ほとんど斃死はなかった。

- ・これまでにアカハタ、スジアラ、マダイ、イサキ、メジナ、イシダイ、コロダイ、タカノハダイ等を出荷（出荷先は漁連）。

・出荷試験の結果

〔マダイ〕 活魚：2,000～3,500円/kg。（鮮魚出荷500～ 600円/kg）

〔メジナ〕 活魚： 800～1,500円/kg。（鮮魚出荷500～ 600円/kg）

〔アカハタ〕 活魚：1,300～2,700円/kg。（鮮魚出荷500～1,000円/kg）

特にマダイは価格差が大きく、冬期に単価が高い。

- ・里地区の取り組みを下甌地区で勉強会を開いて紹介したところ、当該方法を試す者が増えた。平成27年度は離島再生交付金を活用して取り組むこととしている。



簡易活魚箱



活魚水槽内のアカハタ



活魚箱にアカハタを移す



アカハタは 50 尾/箱まで活かすことが可能



酸素を封入



袋を二重にし、必要に応じて氷を入れる



荷造り完成



船内はトラック積み